

労働力調査（基本集計）2026年（令和8年）1～3月期平均 結果の概要

[全 国]

- ・ 就業者数は6776万人と、前年同期に比べ4万人の増加
- ・ 完全失業者数は185万人と、前年同期に比べ16万人の増加
- ・ 完全失業率（原数値）は2.7%と、前年同期に比べ0.3ポイントの上昇

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、北海道、南関東、近畿、四国及び沖縄は増加、東北、北関東・甲信、北陸、東海、中国及び九州は減少
- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、南関東、北関東・甲信、北陸、東海、近畿、中国、九州及び沖縄は増加、北海道、東北及び四国は同数
- ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道	2.7%	(0.1ポイント上昇)	近 畿	2.8%	(0.1ポイント上昇)
東 北	3.0%	(0.1 〃)	中 国	2.6%	(0.1 〃)
南関東	2.6%	(0.1 〃)	四 国	2.2%	(0.3 〃)
北関東・甲信	2.5%	(0.4 〃)	九 州	2.8%	(0.3 〃)
北 陸	2.6%	(0.6 〃)	沖 縄	3.1%	(0.3 〃)
東 海	2.4%	(0.2 〃)			

図 1 地域別完全失業率

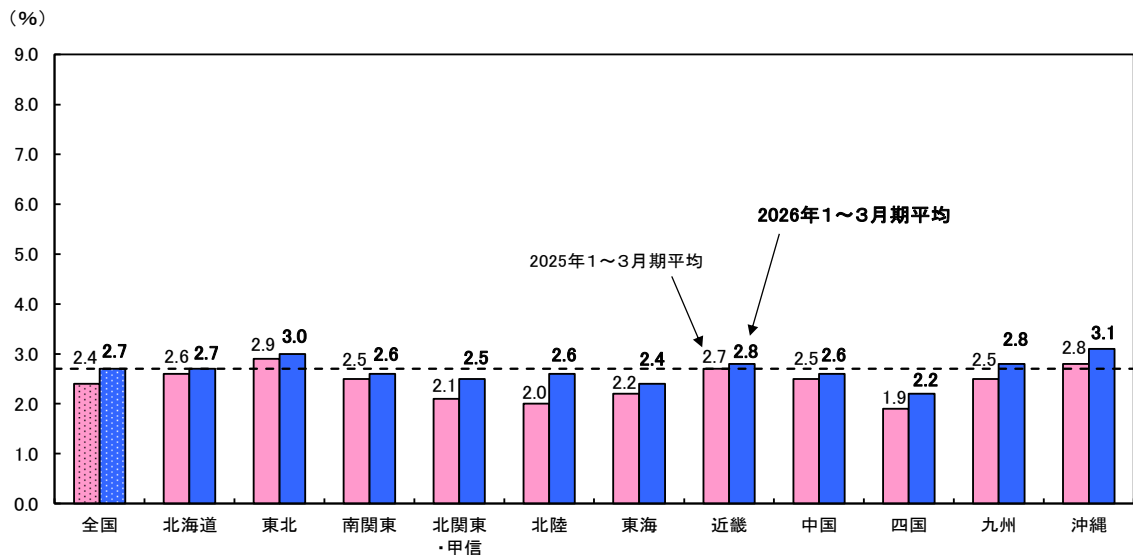


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

